

私たちは JPEXの赤字をつくった西川-

日本郵政社長

郵便事業会社社長

斉藤・鍋倉の責任をうやむやにさせない



「原発廃止」を訴えるデモが5月7日、渋谷で行われた。青年労働者を中心に約1万5千人が集まった（ハチ公前交差点のデモ行進）

今こそ労働組合の出番だ！ストライキを含む闘う方針を

年間一時金50万円カットを許さないぞ！

郵便局で働く皆さん、おはようございます。私は、郵便内務の労働者です。

現在、春闘中央交渉が大詰めを迎えています。4月28日、経営側から第2次回答がされました。その中身は、JPEXの失敗で生み出された赤字を理由に「グループ5社23万人の年間一時金（ボーナス）を、11年度に総額1千150億円削減する。労働者一人あたり平均で50万円（昨年4・3カ月から1・3カ月減）3・0カ月の賃金引下げ」です。

これではローンを抱えた仲間はやっていけません。斎藤・鍋倉社長らは、自らつくりだした赤字の経営責任を開き直って、私たち現場に犠牲を押しつけようというのです。『ふざけるな！西川前社長以下現経営陣は、自分達でつくった赤字は自分たちで責任とれ！』という怒りでいっぱいです。私たち労働者は、赤字をつくった責任を絶対にうやむやにさせてはならないと強く思います。

被災地の労働者には2倍のボーナスを出せ！

被災地の労働者には、昨年の2倍の一時金を出しても当然です。にもかかわらず、労働者に責任転嫁して一時金を大幅カットするとは、被災地で避難所生活や福島原発事故で放射線被曝を受け強制退去を強いられる中で、必死になって共に助け合い生きている労働者と家族の生活をなんにも考えていないということではないでしょうか。とてもあり



非常勤職員への6月雇い止め攻撃を許すな!

会社は、6月のゆうパック事業の見直しにともなって、労働条件の引き下げをも含めた非常勤労働者への新たな雇い止め攻撃を、5月末日にも強行しようとしています。絶対に許せません。私たちが、この3月の雇い止め攻撃に対して非常勤労働者と共に全国で闘いぬぎ、多



- ◆◆ 非常勤職員のみなさんへ ◆◆
- ① 「辞めない」とはつきりと意思表示しよう。そしてこういつ時こそ一人で悩まないで、労働組合に入って首切りをさせないために団結して話し合い、一人の首切りもさせないように闘おう。
- ② 「時給の切り下げ」「勤務時間の短縮」等々も、雇い止め攻撃です。自分から退職しては会社の思いつぽです。
- ③ 私たちは、皆さんと共に闘います。今すぐ連絡を下さい。秘密は厳守します。

中央本部の独断妥結は絶対に認められない!

みなさん、被災した労働者への救援運動は、息ながく私たち労働者・労働組合の手でやるうちはありませんか。政府や資本、御用組合幹部らの「自粛」「政治休戦」「がんばろう日本」の政治的宣伝や「事業危機・赤字論」に惑わされることなく、団結して闘いましょう。

非常勤職員の正社員化と大幅な労働条件改善を勝ちとろう。委託労働者も含め、郵政で働くすべての労働者・家族の生活がかかった今春闘は重大です。中央本部の独断的な妥結は認められません。そのためにも職場・分会で集まって「一時金カットにNO!」の声をあげよう。今こそ、労働組合の力を見せる時です。組合の本来のあり方を皆で考え行動しよう。ストライキを含む具体的な闘う方針を、団結して全員でつくりだそう。

全国労組交流センター
全通労働者部会

東京都台東区元浅草2-4-10 五宝堂・伊藤ビル5階
Tel 03(3845)7461 Fax 03(3845)7463
URL: http://www.k-center.org E-mail: centergo@nifty.com

2011年
5月9日
発行

原発とめて社会を変えよう！ 列ズNo.1

国家と資本による犯罪だ！

東日本大震災は、すでに2カ月を経とうとしている今なお、さらなる大惨事となつて労働者民衆に襲いかかっています。被災地は、いまだ1万5千人の行方が知れず、12万5千人が避難所生活を送っています。

福島原発事故は、収束のメドも立たず、大量の放射性物質を海洋・大気中に放出し続け、数十万人の住む地を奪い、周辺の農業・漁業に壊滅的打撃を与えています。政府・電力会社は、この期に及んで情報隠しを続け、余震が頻発する中でも原発を止めようとしていません。現場の労働者に高線量被曝を強いつつさらに数千万人の命を危険にさらすものであり、断じて許されません。

あらゆる産業が壊滅的な打撃を被った被災地は求人ゼロ、全国でさまざまの大失業攻撃が吹き荒れています。部品供給停止や計画停電を口実に解雇・雇止め、内定取り消し、休業補償なしの自宅待機が激増しています。

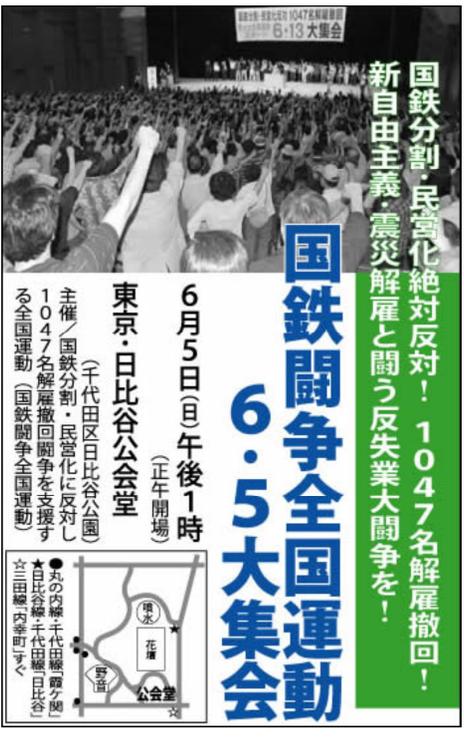
起こったことは、新自由主義の帰結であり、国家と資本による犯罪です。震災をテコとした有事体制づくり、復興に名をかりた大増税や道州制、損害賠償を口実と

した東電支援など、これから始まることは、私たち労働者に一切の犠牲を転嫁しようという攻撃です。このとき、連合は、「国難打開」を叫んで、春闘を休戦し、メーカーも「復興支援集会」にねじ曲げ、挙国一致体制にのめりこんでいます。

民営化の歴史をひっくり返えし闘う労働組合を！

そもそも原子力発電所は中曽根元首相時代に増設されました。原発推進政策は、国鉄分割民営化で国労をつぶし新憲法を安置すると豪語した中曽根が、民営化攻撃で労働組合の力をそぐことを通じて強行したのです。

今こそ、国鉄分割民営化から始まり郵政民営化に行きついた新自由主義攻撃の歴史を全部ひっくり返す必要があります。反原発の怒りは全国で渦巻いています。国鉄分割・民営化絶対反対の6・5集会に結集し、連合の産業復興運動をうち破ろう。労働運動の力で青年と全労働者の未来を切り開こう。



国鉄分割・民営化絶対反対！1047名解雇撤回！
新自由主義・震災解雇と闘う反失業大闘争を！
国鉄闘争全国運動 6・5大集会
 6月5日(日)午後1時 正午開場
 東京・日比谷公会堂
 千代田区日比谷公園
 主催/国鉄分割・民営化に反対し1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動(国鉄闘争全国運動)
 丸の内線千代田線有楽町線
 ★日比谷千代田線有楽町線
 ☆日比谷千代田線有楽町線

連合が「原発事故の影響はない」と世界に大ウソをついている！

連合が、4月11日付で英文のみの海外向け声明を出しました。驚くべきことが書いてあります。

「安全に生活することができる環境であり、北は遠く北海道から東京の西まで、原発事故による影響はありません。むしろ、日本の内外の噂によって引き起こされた損害が、人々の生活と産業を阻害しているのです。正確な情報に基づく冷静な対応が現在求められています。不安が拡大し、日本の内外の経済に影響を与えます。(以下略)

なんと「北海道から東京の西まで、原発事故の影響はない」、むしろ「内外のうわさが生活と産業を阻害している」「正確な情報に基づく冷静な対応を」と言っているのです。冗談じゃない！放射能汚染が東日本全体に拡大し、福島原発20km圏の立ち入り禁止措置まで取られる状況をどう説明するのか。

原発ビジネスのお先棒担ぎ

何のためにこんな大ウソを広めようとしているのでしょうか。連合は、原発ビジネスのお先棒を担ぎ続けようとしているからです。原発が人類を滅亡させかねないことを百も承知で「安全だ」「影響はない」と擁護し、政府、経団連、東芝や日立とグルになって売り続けようとする。こんな連中が原発を日本中に造ってきたのです。ほんとに許せない。

この連合運動の先頭に立っているのがJP労組・中央本部です。こんな腐った連中を打倒して闘う労働組合を作ろう！

東日本大地震-連合古賀会長から全世界の友人たちへのメッセージ(原文は英文)



※連合は英語でホームページに公開したが、日本語は掲載していない
2011年4月11日

まず、全世界でわれわれとともに国際労働組合運動をしている友人たちから東日本大震災後によせられた温かい共感のメッセージと支援に心から感謝いたします。(中略)

東京から北東220キロメートルの距離にある福島県の沿岸地方も大きな津波に襲われ、特に、福島第一原発では、外部電源を含むすべての電源が失われる事故が起きました。実際、一時は、本当に危機的な瞬間がありました。しかし、重大な状態に直ちに突入するという状況から脱出し

- 地域の合同労組に連絡をください！ ●東京東部ユニオン(葛飾区新小岩2-8-8クリスタルハイム302号 TEL:03-6410-4329 FAX:03-6410-4369 Eメール:tobuunion@grace.ocn.ne.jp) ●東京西部ユニオン(杉並区天沼3-6-1深澤ビル402 電話&FAX:03-3220-7473 Eメール:seibu-union@mocha.ocn.ne.jp) ●なんぶユニオン(品川区大井1-34-5河野ビル3F Tel&Fax:03-3778-0717 Eメール:nanbuunion@yahoo.co.jp) ●東京北部ユニオン(豊島区西池袋5-13-10 ハイマート西池袋603号 TEL&FAX 03-6914-0487 Eメール:tokyohokubuunion2010@yahoo.co.jp) ●ユニオン東京合同(千代田区三崎町2-17-8皆川ビル301「朔」気付 電話&FAX:03-3262-4440 Eメール:info@union-tg.org) ●合同労働組合八王子(八王子市明神町4-14-5リーベンスハイム2-203 電話&FAX:042-644-9914 Eメール:gorohachi2007@gmail.com) ●ちば合同労働組合(千葉市中央区要町2-8DC会館内 電話:043-225-2207 Eメール:chiba_goudou@yahoo.co.jp) ●合同労組かながわ(横浜市中区長者町8-136 米屋ビル303 電話&FAX:045-242-1055 Eメール:mep_workers@yahoo.co.jp) ●さいたまユニオン(電話:090-9825-0184 Eメール:norikakomaru@t.vodafone.ne.jp)